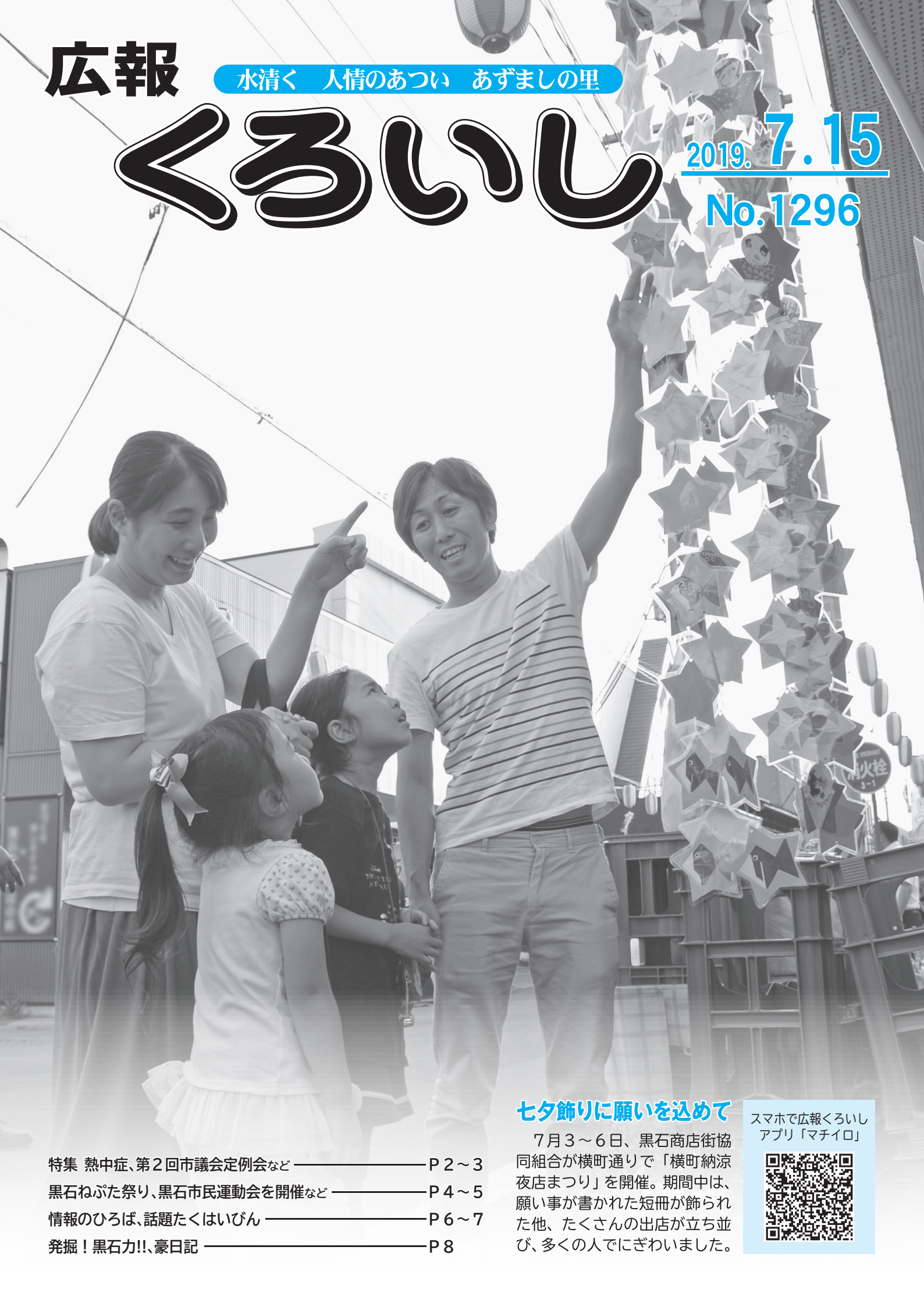


# くろいし

2019. 7. 15

No.1296



## 七夕飾りに願いを込めて

7月3～6日、黒石商店街協同組合が横町通りで「横町納涼夜店まつり」を開催。期間中は、願い事が書かれた短冊が飾られた他、たくさんの出店が立ち並び、多くの人でにぎわいました。

スマホで広報くろいし  
アプリ「マチイロ」



- 特集 熱中症、第2回市議会定例会など ————— P 2～3
- 黒石ねぷた祭り、黒石市民運動会を開催など ————— P 4～5
- 情報のひろば、話題たくはいびん ————— P 6～7
- 発掘！黒石力!!、豪日記 ————— P 8



# 特集 熱中症を知り 暑い夏を乗り切ろう

ここ数年増えている熱中症被害。熱中症は正しい予防方法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができます。一人ひとりが熱中症対策をして、暑い夏を乗り切りましょう。

## 熱中症とは

熱中症とは、体温が上がることで体温調整機能が働かなくなり、めまいや体のだるさなどを感じる症状の総称で、最悪の場合は死に至ることもあります。

## 室内でも発症

熱中症は、日中の炎天下だけでなく、室内や夜間でも多く発生しています。

救急要請時の発生場所では住宅が全体の約4割を占め、最も多くなっています。

## 半数以上が65歳以上

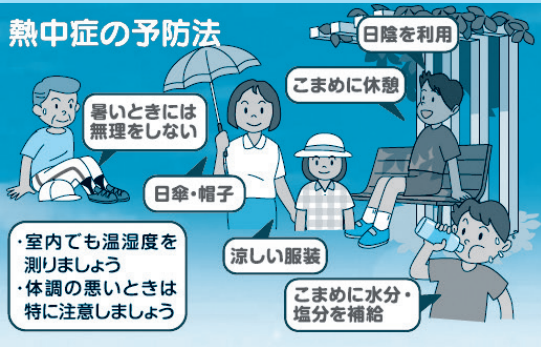
昨年、熱中症で救急搬送された人は、弘前地区消防事務組合管内で109人。そのうち61人が65歳以上でした。高齢者は暑さやのどの渇き

■平成30年度弘前地区消防事務組合管内 熱中症事案出動状況

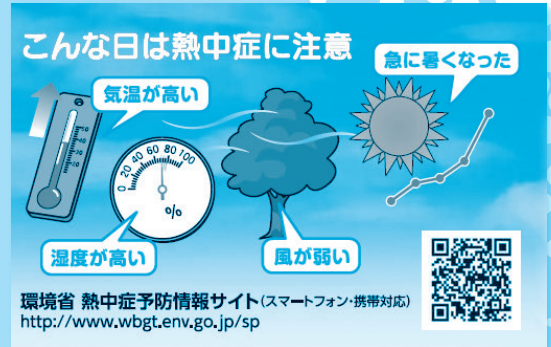
年齢別	搬送人員	発生場所	件数
15歳未満	5人	住宅	44件
65歳未満	43人	その他屋内	14件
		道路	26件
65歳以上	61人	その他屋外	25件
計	109人	計	109件

## 子供の变化に注意

乳幼児は自身で予防策がとれないので、大人がしっかりと見守る必要があります。子供の顔が赤かったり、ひどく汗をかいたりしているときは、涼しい場所で十分に休ませましょう。



出典：環境省熱中症情報サイト



■熱中症の症状と重症度

### I度: 応急処置で対応できる軽症

- ・めまいや立ちくらみ
- ・筋肉のこむら返り
- ・何度拭いても汗が出る

### II度: 病院へ搬送が必要な中等症

- ・ズキンズキンとする頭痛
- ・吐き気
- ・体がだるい

### III度: 入院して治療が必要な重症

- ・意識がない
- ・けいれん
- ・まったく歩けない
- ・体温が高い

弘前地区消防事務組合消防本部の平井氏と小山内氏に熱中症に対する注意点を聞きまし



が 高い場合は、すぐに119番通報してください。救急車が到着するまでは、風通しのよい日陰や冷房の効いた室内などに避難させ、体を冷やすことが大切です。氷のうや保冷剤などで首筋やわきの下、太ももの付け根などを冷やすと効果的です。

熱中症による搬送件数は、最高気温が25度を超えたときや湿度が高いとき、風が弱いときなどに増える傾向にあります。また、日中屋外で作業し、帰宅後夕方から夜にかけて熱中症の症状を訴え、救急要請するといった事案も発生しています。

症状としては、めまいやお吐を訴える傷病者が多いのですが、呼びかけても反応がない、体がひきつける、体温

毎年、救急搬送者が発生する熱中症。自分や周囲の人を守るため対策をしていきましょう。

ことが予防の第一歩です。

## 第2回市議会定例会

# 補正予算などを可決

令和元年第2回市議会定例会は、6月18日に開会し、会期を決定した後、高樋市長が提案理由を説明しました。

25・26日には、改選後初めてとなる市政に対する一般質問が行われ10議員が登壇。市政に対する理事者の考えをただしたのに対し、市長や部長などが答弁しました。

28日の本会議では、追加議案を含む市長提出の3報告・

6議案と議員提出の1議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・報告・同意しました。主な議案は次のとおりです。

### 条例制定

▽消費税率及び地方消費税の改定に伴う関係条例の整備に関する条例▽市行政不服審査法施行条例の一部を改正する条例

### 一般会計補正予算

令和元年度一般会計補正予

算(第1号)は、歳入歳出それぞれ1975万円を追加し、予算の総額を181億5875万円に。

### 人事案件

人権擁護委員には、佐藤佳代子氏(石名坂・70歳)、種市誠氏(大村・66歳)の2氏を推薦することに同意しました。

### 議員提出議案

市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定では、7月1日から令和2年3月31日までの議員報酬月額を、6割減額しました。

## 土木資材を支給します

市は、市民と協働で生活環境を整備し住みよいまちづくりを推進するため、土木資材(生コンクリート、アスファルト合材、砕石、コンクリート二次製品、建築機械等のリース料など)を支給しています。

対象となるのは、地区協議会や町内会などが、市道や法定外公共物の改修等を令和2年3月20日までにを行う場合で、市内10地区で1地区1回に限り現物支給をします。

申し込み期限は8月30日(金)までとなっていますので、希望する地区協議会や町内会などは、市土木課へお問い合わせください。

※申し込み・問い合わせ先…市土木課土木係(境松庁舎) ☎52-2111内線581・583

## 市税の納付をお忘れなく

7月は固定資産税第2期と国民健康保険税第1期の納付月です。納期限は7月31日(水)ですので、忘れずに納付してください。納期限内に納付できないときは、督促手数料や延滞金が加算される場合がありますのでご注意ください。

口座振替をお申し込みで、全期前納を選択している人は国民健康保険税の年税額が、期別を選択している人は固定資産税第2期、国民健康保険税第1期分が7月31日に振替となります。振替後の通知はしませんので通帳等でご確認ください。

※問い合わせ先…市収納課納税管理係 ☎52-2111内線143

## 後期高齢者医療

# 8月に保険証が更新されます

### 新たな保険証を郵送

市は、8月1日から使用できる後期高齢者医療被保険者証(保険証)を7月末までに郵送します。お手元に届きましたら記載内容に誤りがないかご確認ください。

なお、現在ご使用の保険証の有効期限は7月31日(水)までとなっていますので、有効期限が過ぎてから各自で処分してください。

### 医療費が高額になったとき

住民税非課税世帯の被保険者は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受け、医療機関に提示すると、医療費が高額療養費の自己負担限度額まで減額となり、入院時には食事代が減額されます。

また、世帯に住民税課税所得金額が145万円以上69

0万円未満の被保険者がいる人は、「限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関に提示すると、医療費が高額療養費の自己負担限度額まで減額となります。

### 認定証の更新

「限度額適用・標準負担額減額認定証」や「限度額適用認定証」を交付されている人で、引き続き、所得等の要件を満たす人には、7月末までに保険証と一緒に新しい認定証を郵送しますので、更新の手続きは必要ありません。

新たに交付を希望する人は、保険証と印鑑、マイナンバーが分かるものを持参のうえ、市国保年金課で手続きをしてください。

### 保険料の納付が困難なとき

災害、その他特別な事情で、保険料を支払うことが著しく困難になったときは、申請により保険料の減免等を受けられる場合がありますので、お早めにご相談ください。

※申請・問い合わせ先：市国

保年金課高齢医療係 ☎52-

2111内線125・13

1、県後期高齢者医療広域

連合 ☎017-721-13

821



7月30日開幕

# 黒石ねぶた祭り

(公社)黒石青年会議所(村上陽心理事長)が主催する「第64回黒石ねぶた祭り」が、7月30日(火)から8月5日(月)までの7日間行われます。

今年には人形ねぶたが4台、扇ねぶたが49台、計53台のねぶたが出陣します。



◆審査合同運行：7月30日(火)午後5時30分から御幸公園で出陣式。午後6時30分に出発し、市役所前で審査

◆表彰合同運行：8月2日(金)午後6時30分に御幸公園を出発し、富田大通り高樋理容所前で表彰

◎雨天の場合、両合同運行は翌日に順延。順延の決定は当日の正午に行います。

地区合同運行：▽東地区 8月1日(木)黒石東小学校を出発▽西部地区 8月3日(土)御幸公園

を出発▽中部地区 8月4日(日)ユニバース

黒石駅前店を出発

◎いずれも午後6時30分出發です。

◆最終日：8月5日(月)は朝から町内各地で自由運行  
※問い合わせ先：黒石青年会議所 ☎5213369



参加者募集!!

## よい歯のシニアコンテスト



歯の健康は全身の健康に影響し、自分の歯でかむことは健康な生活につながります。

市は、今年度も「よい歯のシニアコンテスト」を次のとおり開催します。

◆対象者：残っている歯(入れ歯を除く)が次の本数以上で虫歯の治療が終わっている市民▽65歳▽69歳▽23本以上▽70歳▽74歳▽22本以上▽75歳▽79歳：21本以上▽80

歳以上：20本以上(過去のコンテスト参加者は対象外)

◆日時：8月24日(土)午後1時(受け付けは午後0時50分開始)

◆場所：スポカルイン黒石2階大会議室

◆申込期限：8月13日(火)

※申し込み・問い合わせ先：市健康推進課成人保健係 ☎5212111内線246・247

## 夏の交通安全県民運動

7月21日(日)から31日(水)までの11日間、「令和元年夏の交通安全県民運動」が実施されます。

この運動は、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

期間中は、交差点等で街頭監視活動を行う他、のぼり旗を設置し交通安全を呼びかけます。

### 運動の重点

▽子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

▽自転車の安全利用の推進  
▽すべての座席のシートベルトとチャイルドシート  
の正しい着用の徹底

▽飲酒・暴走運転の根絶  
※問い合わせ先：市市民環境課 交通生活係 ☎5212111内線132

空き店舗で出店しませんか

## 補助金交付希望者を募集!

市は、中心商店街(横町・中町・前町・市ノ町・上町・一番町)の空き店舗に新規出店する小売業者等に対し、店舗の賃借料や改装費を補助する「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」の交付希望者を募集しています。

交付にはさまざまな要件がありますので、詳しくは市商工課へお問い合わせください。

対象者	補助対象経費	補助金額(限度額)
賃借者	店舗賃借料	月額5万円
改装者	店舗改装費	100万円

※申し込み・問い合わせ先…市商工課商工振興係 ☎52-2111内線641

## 衣浴のよさを無料で着付けを実施

市は、より多くの方が黒石よされに参加できるように、黒石よされの浴衣等の無料着付けサービスを次のとおり実施します。

◆対象者…個人で参加する人(黒石よされ流し踊り参加団体の参加者は対象外)

◎浴衣等は申込者が準備してください。浴衣を持っていない人は市観光課までご相談ください。

◆日時…8月15日(木)・16日(金)午後4時から

◆定員…先着20人程度

◆場所…市スポーツ交流センター2階和室

※申し込み・問い合わせ先…市観光課観光振興係 ☎52-2111内線647

## 個別運動教室を実施します

市は、継続的な運動習慣を身につけるため、個別運動教室を次のとおり実施します。

- ◆対象…医師から運動制限の指示を受けていない30歳から64歳までの市民で、当該事業または西部地区個別運動教室に参加したことがない人
- ◆定員…先着30人
- ◆場所…スポカルイン黒石フィットネストレーニング室
- ◆料金…体力測定、フィットネストレーニング室は12回まで利用無料
- ◆申込期間…7月22日（月）～8月2日（金）午前8時15分～午後5時（土・日曜日を除く）
- ◆内容…下表のとおり

日程	内容
9月 初回体力測定	体力測定、個人メニューの作成、3か月間の目標設定
初回測定から 約3か月間	参加者の都合に合わせて同トレーニング室を利用し、作成したメニューに沿って運動を実施
12月 最終評価	体力測定、今後の目標設定

◎詳しい日程は、後日参加者に案内を送付します。

※申し込み・問い合わせ先…市健康推進課成人保健係  
☎52-2111内線246・247

## 電池は専用回収ボックスへ！

6月13日、黒石地区清掃施設組合粗大ごみ処理施設で、ごみ処理中にリチウムイオン等の充電式電池からの発火が原因と思われる小規模な火災が発生しました。

早期発見により大事には至りませんでした。取り外した電池などは燃やせないごみに出さず、分別し市役所や各地区公民館など、市指定場所の電池専用回収箱に出すようお願いします。

不明な点は市市民環境課へお問い合わせください。  
※問い合わせ先…同清掃施設組合☎53-1222、市市民環境課環境衛生係☎52-2111内線123・124

有 料 広 告

## 黒石市民運動会を開催

市と市教育委員会は、「一市民一スポーツ」の普及・推進と市内10地区協議会の連帯感の向上を図るため、各地区対抗で「第3回黒石市民運動会」を次のとおり開催します。

- ◆日時…8月25日（日）午前8時30分～午後0時30分
- ◆場所…黒石運動公園陸上競技場
- ◎雨天の場合は、スポカルイン黒石で開催します。
- ◆競技種目…下表のとおり



種 目	対 象
コイの滝登り	▽小学生=男子1人▽中学生以上=男女各4人
グラウンド・ゴルフリレー	▽60歳以上=男女各4人
綱引き風船割り（予選、本選あり）	▽小学生=男女各1人▽中学生以上=男女各3人▽60歳以上=男女各1人
大縄跳び	▽一般=男女各4人
1,000m競走（雨天時中止）	▽中学生以上=性別不問計3人以内
玉入れ	▽小学生=男女各1人▽中学生以上=男女各3人▽60歳以上=男女各1人
お宝ひろい	▽幼児と保護者または祖父母のペア=4組以内
パン食い競走	▽小学生=男女各1人▽中学生以上=男女各1人
地区対抗リレー（雨天時中止）	▽小学生=男女各1人▽中学生以上=男女各3人

※問い合わせ先…市文化スポーツ課文化スポーツ係☎52-2111内線621

### 家庭ごみ（一般廃棄物）

## 処分手数料を10月から改定

黒石地区清掃施設組合では、家庭ごみを直接施設に搬入した場合、これまで50kg未満の処分手数料は無料でしたが、ごみの搬入件数および量の増加に伴い、10月から下表のとおり改正します。

搬入される家庭ごみには、資源化できる紙類やびん類・空き缶等が多く含まれ、ごみの資源化や減量化が進まない要因にもなっています。

家庭ごみを搬入する場合は、ごみと資源を分別してくださるよう、ご理解とご協力をお願いします。

搬入量	9月末まで	10月から
50kg未満	無料	10kgにつき 100円
50kg以上	10kgにつき 100円	

※問い合わせ先…同清掃施設組合☎53-1222

時…日時 場…場所 期…期間・期限 対…対象 申…申込・提出・参加・応募 費…費用・料金 定…定員・定数 内…内容  
資…資格 他…その他 F…FAX番号 HP…ホームページ ☎…電話番号 ✉…メールアドレス



お知らせ

県健康経営認定制度と健康づくり担当者養成研修

県は、従業員の健康管理を経営的視点から考え実践する「健康経営®(NPO法人健康経営研究会登録商標)」に取り組み県内事業所を「県健康経営事業所」として認定する「県健康経営認定制度」を実施しています。

要件を満たし認定を受けた事業所は、入札参加資格申請時の加点や県内金融機関より低利融資を受けられるなどのメリットがあります。

詳しくは、県ホームページ  
(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/gan-seikatsu/aomori-kenkoukei.html>) をご覧になるかお問い合わせください。

また、認定必須要件の一つとして定めている「健康づくり担当者養成研修」を次のとおり実施します。詳しくは、県医師会健やか力推進センターへお問い合わせください。  
①8月27日(火) ②9月13日(金) ③12月18日(水)

(いずれも午前9時40分～午後4時30分)

場①健康未来イノベーションセンター(弘前市) ②五所川原市中央公民館(五所川原市) ③リンクステーションホール青森(青森市)

¥30000円

※▽認定制度は県がん・生活習慣病対策課 ☎017-734-9212▽研修は同会健やか力推進センター ☎017-763-5590

県学生寮入寮生

(公財) 県育英奨学会は、「青森県学生寮入寮生」を次のとおり募集します。詳しくは、同学生寮ホームページ  
(<https://syougakukai.wixsite.com/aomori-ryo>) をご覧になるか、お問い合わせください。

対保護者が県民で、東京都か、その近郊の大学や専修学校などに在学か、入学見込みの男子

場東京都小平市鈴木町1-103-1

¥▽入寮費は年額3万円▽寮費は月額3万円▽食費は月4500円(平日の夕食のみ提供)▽電気料金は実費 ※同奨学会(県教育委員会教

職員課内) ☎017-734-9879

黒石よされ講習会

(二社)黒石観光協会は「黒石よされ及び黒石よされニューバージョン講習会」を次のとおり開催します。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

時8月3日(土)▽黒石よされニューバージョンは午後3~4時▽黒石よされ他は午後4~5時

場松の湯交流館 外広場

¥無料 ※同協会 ☎52-13488



第11回こけす世界大会

松の湯交流館で、「第11回こけす世界大会」が次のとおり、無料で開催されます。

時8月11日(日) 午前10時～午後0時30分(受け付けは午前9時30分)

場松の湯交流館

内小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生以上一般の部(各部個人トーナメント戦)

この広報紙は再生紙を使用しています

申こけす製作者の今

金雄氏か同交流館、各児童館・りんごクラブへ

※今金雄 ☎080-60002-9610、✉kor.kaneo@ab.aunone.net.jp



小学生陶芸体験教室

津軽広域連合は、小学生を対象に「陶芸体験教室」を次のとおり開催します。詳しくはお問い合わせください。

時8月14日(水) 午後1時30分～3時

場板柳町ふるさとセンター陶芸工房(板柳町)

定黒石市、弘前市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村に在住の小学生30人(応募者多数)

**8月前半の集団健(検)診**  
総合健(検)診  
牡丹平小学校  
時2日(金)  
浅瀬石公民館  
時5日(月)・6日(火)  
◎いずれも受け付け時間は午前7～9時  
くろいし健康マイレージポイント対象です!!  
特定健診10ポイント、がん検診は10ポイント、両方受診でさらに10ポイント。  
詳しくは、お問い合わせください。  
※市健康推進課成人保健係 ☎52-2111内線246・247

8月の休日当番医		
4日	ちとせクリニック	☎53-7228
11日	黒石あけぼの病院	☎52-2877
12日	田村眼科	☎53-1256
18日	盛耳鼻咽喉科	☎53-1187
25日	かきさか医院	☎53-2255

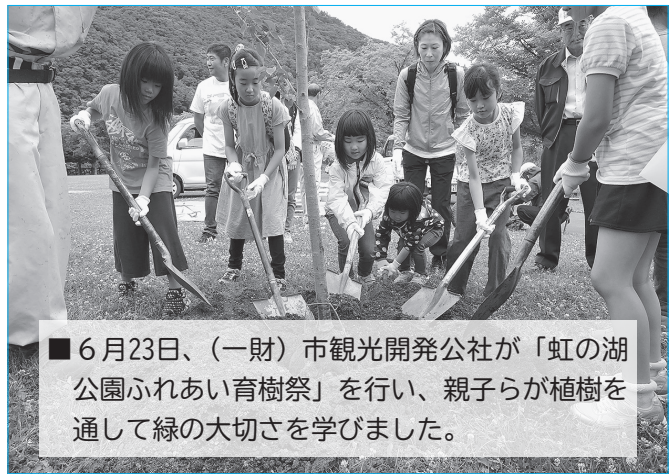
休日当番医変更  
7月21日(日)の休日当番医は、ちとせクリニック(☎53-7228)へ変更になりました。





# 話題

## たくはいびん



■ 6月23日、(一財)市観光開発公社が「虹の湖公園ふれあい育樹祭」を行い、親子らが植樹を通して緑の大切さを学びました。



### 東北ろうあ者体育大会が開催

6月22・23日の両日、東北ろうあ連盟(高橋幸子連盟長)が主催する「第50回東北ろうあ者体育大会」が、スポカルイン黒石などを会場に開催されました。

この大会には、東北6県から選手やボランティアら約170人が参加。開会式では、選手を代表して小田切彩佳選手(平川市)が「一生懸命競技を頑張りたい」と力強く選手宣言しました。

選手たちは、ソフトバレーボールや卓球などの競技で優勝を目指しながらチームを超えて親睦を深めていました。

### 黒高女子フェンシング部が全国大会出場へ

7月1日、黒石高等学校女子フェンシング部が市長室を訪れ、26日から鹿児島県で行われる「令和元年度全国高等学校総合体育大会」への出場を高樋市長に報告しました。

6月に行われた県高等学校総合体育大会では、女子個人フルーレ部門で佐藤亜美さんが、女子個人エペ部門で後藤麻瑚都さんが、女子個人サーブル部門で白取花音さんがそれぞれ優勝し、全国大会への出場権を獲得。

3人はそれぞれ「全国大会で結果を残せるように頑張りたい」と高樋市長に抱負を語りました。



### 完熟したカシスを丁寧に収穫

7月3日、市と(福)市社会福祉協議会は、農福連携事業として市所有のほ場で育ったカシスの収穫を行いました。

この日は、就労継続支援B型事業所「せせらぎの園」の利用者の他、本市や大鰐町のボランティアら合わせて約80人が参加。4回目を迎える今年度は、昨年度の62kgを越える75kgのカシスを収穫しました。

参加者たちは、旧市バイオ技術センターと屋外のほ場に分かれて、完熟したカシスの実を一粒一粒丁寧に摘み取っていました。



有料広告

# 発掘! 黒石力!!

Vol.4

「ふるさと元気まつり」実行委員長

富谷 英生 さん

(34歳・富士見)

## 「“黒石っていいよね”と 感じるきっかけに！」

(公社)黒石青年会議所が「ふるさとへの愛郷心の醸成と魅力あるふるさとづくりを目指したい」という思いから開催を始めた「ふるさと元気まつり」。毎年8月17日、浅瀬石川千歳橋下流河川敷を会場に、灯籠流しやねぶた運行、ステージ発表、花火などが盛大に行われます。

このまつりで昨年、実行委員を務め、今年の実行委員長に就任した富谷英生さんは、「企画や準備に昨年以上の葛藤や不安を感じながらも、楽しんで取り組んでいます。実行委員長は責任

もありますが、関わってくれるすべての人達への感謝の気持ちを忘れずに、最後まで頑張りたい」と抱負を語りました。

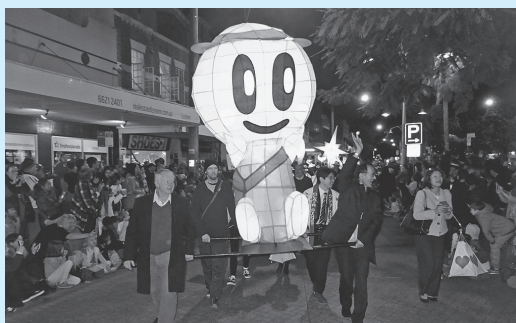
富谷さんをはじめ実行委員会は“令和元年にふさわしい、記憶に残るまつり”を目標に、子供も大人も楽しめる催しを企画し、準備も大詰めを迎えています。「当日はぜひ会場に足を運んで、黒石の夏を存分に楽しんでもらい、“黒石っていいよね”と感じるきっかけになればうれしい」と富谷さんは笑顔で話してくれました。



大和高田市とリズモーは、日本とオーストラリア間で最も長く姉妹都市関係を築いています。昨年は姉妹都市提携55周年を記念して、リズモーの人たちが大和高田市のマスコットキャラクター「みくちゃん」のランタンを製作しました。

今年には在シドニー日本国総

6月22・23日、シドニーと同じニュー・サウス・ウェールズ州のリズモーと、バイロンベイに出張してきました。22日、リズモーと姉妹都市の奈良県大和高田市の活動支援のため「ランタンパレード」に参加。リズモーの市職員によると、今年には昨年を上回る2万人以上がパレードに駆けつけたそうです。



ランタンパレード沿道の様子

領事館総領事や、リズモーの職員らと共に、「みくちゃん」のランタンを担ぎました。沿道からは「みくちゃん!」、「こんにちは!」と日本語で声があがり、長年にわたる国際交流の一つの成果を感じる事ができました。

23日、バイロンベイに在住している旅行エージェントを訪問し、スキーに関する観光客誘致の情報を聞いてきた他、黒石温泉郷についてPRしてきました。

今回の出張では、姉妹都市交流の成果を感じたり、さらにスキーに関する情報収集やPRができたりと、有意義な時間を過ごすことができました。